

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聴覚・ろう重複センターつくしっこ		
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 10 日 ～ 2025 年 11 月 27 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 10 日 ～ 2025 年 11 月 27 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 19 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	計画に沿って、専門的な支援ができています。	個別支援計画を職員間で共有し、聴覚障害児一人ひとりに合わせたコミュニケーション支援を大切にしています。	スタッフの専門性を高めるために研修等の機会を設け、さらなるスキルアップを目指します。
2	事故等発生した場合、すみやかな対応ができています。	まずは未然防ぐよう環境を整えています。遊びの中で起きてしまった事故は速やかに対応し、保護者への報告をしています。	ヒヤリハット報告を徹底し、スタッフの危機管理を高めます。事故が起こりそうな場所や要因について、子どもたちも含めて話し合います。
3	子どもたちが満足できる活動ができています。	長期休みの企画やお出かけなど、子どもたちの要望を聞き参考にしています。季節に合わせた行事やおやつを計画し、丁寧に説明しています。	新たなお出かけ先などを提案します。聴覚障害児の受け入れの前例を作り、地域で活動できるよう啓発していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと接する機会が少ない。	児童館や放課後クラブに出かけることはなく、地域に開かれたイベント等を実施できていません。	普段の公園遊び等で自然に交流できるよう配慮していますが、継続しないことも多いので、必要に応じてスタッフが間に入り関係を作れるよう工夫します。 地域のイベントに参加します。
2	保護者の交流会など家族支援や、きょうだい児の交流の機会が少ない。	保護者会は昨年度開催しましたが、きょうだい児の企画は未実施です。	保護者会の開催を定番化し、保護者の皆さまに安心して参加していただけるような内容を提案します。きょうだい児と交流できる場を検討します。
3			